

# 用語集

河口閉塞	河口付近において、砂礫が堆積することによって形成される砂州により、河口が閉塞する現象。
霞堤	堤防のある区間に開口部を開けて、上流で氾濫した水を速やかに河川に戻したり、洪水の一部を氾濫させて下流に流下する洪水の量を少なくさせる方法。
河川整備基本方針	河川管理者が、水系ごとに河川整備の基本となる事項（方針）を定めるものである。平成9年の河川法の改正により、従前の工事实施基本計画から河川環境の保全や河川空間の利用の考え方を取り入れ、地域住民や関係機関との連携を図りながら策定するものとしている。
河川整備計画	河川整備基本方針に沿って、より具体的で計画的に行われる河川の整備計画を定めるものである。河川整備計画の策定にあたっては、学識経験者および地域住民の意見を反映させることが義務づけられている。
河川法	国内の河川整備のあり方などを規定している法律で、主に「治水」を目的として明治29年に制定された。その後、昭和39年に「治水」、「利水」を目的とした法に改定された。平成9年の法改正では、従来の「工事实施基本計画」に代わり、「河川整備基本方針」と「河川整備基本計画」の2段階で策定することが定められた。また、同計画の策定にあたっては、学識経験者および地域住民の意見を反映させることが義務づけられており、従来の「治水」、「利水」の目的の他に「河川環境の保全」が目的として位置付けられた。
河畔林	河川に沿って存在する帯状の樹木群。洪水時の越水による洗掘の防止及び氾濫流による破堤部の拡大の防止、災害の発生を防止・軽減する効果がある。
計画規模	治水計画を策定する上で、将来的に被害が発生しないように整備するための目標とすべき規模であり、流域の規模、人口や資産等から設定される。
護岸	川の水の流れによる侵食から堤防や地盤などを守るために、石材やコンクリートなどでできた構造物。
水源涵養機能	森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して、川の流量を安定させる機能。
築堤	堤防を築くこと。
治水	水害を防ぐために、川の土砂を取り除いたり、堤防を整備すること。
超過洪水	計画規模を超えた降雨による洪水。
土砂流出抑制機能	降雨による土壌の侵食を防ぎ、川への流出を抑制する機能。
二線堤	破堤等による洪水氾濫の拡大を防止するために、堤内地に築造された堤防。
遊水機能	川沿いの田んぼが雨を溜めたり、あふれた水を一時的に溜めておく機能。